

第2節 再エネの推進

持続可能なエネルギーを選択し、

地域で作られたエネルギーを積極的に利用していくまち

概要

現在の我々の生活はこれまで地球が長い間をかけて形成してきた化石燃料を大量消費することにより成り立っています。化石燃料依存の暮らしから転換して、市内で生産・消費できる太陽光発電由来等による持続可能なエネルギーを選択し、地域で作られた再生可能エネルギーを積極的に利用していくまちを目指していきます。

本節“再エネの推進”では、持続可能なまちを目指し、「持続可能なエネルギーへの転換促進」「脱炭素交通への移行」を施策の柱として取り組んでいます。

環境指標の達成状況

| 指標項目 | 単位 | 目指す方向 | 基準値 | 上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況 | | | | | | | |
|-----------------------------------|----|-------|-----------------|-------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | | | 2022年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 | |
| 再生可能エネルギーの導入量 | MW | 増加 | 43.1 | 50.0 | 53.3 | 57.4 | 61.4 | 65.3 | 69.3 | 73.3 | |
| | | | | 50.9 | | | | | | | |
| | | | | ○ | | | | | | | |
| 戸建住宅における太陽光発電設置割合 | % | 増加 | 1.6 | 3.1 | 4.1 | 5.3 | 6.4 | 7.6 | 8.8 | 10.0 | |
| | | | | 3.2 | | | | | | | |
| | | | | ○ | | | | | | | |
| 所沢市スマートハウス化推進補助金を支給した太陽光発電設備の発電容量 | kW | 増加 | 308 | 1,100 | 1,500 | 1,900 | 2,300 | 2,700 | 3,100 | 3500 | |
| | | | | 4,395 | | | | | | | |
| | | | | ○ | | | | | | | |
| 再生可能エネルギーの利用率 | % | 増加 | 14.7 (2021年) | 22.8 | 25.5 | 28.2 | 30.9 | 33.6 | 36.3 | 39.0 | |
| | | | | 17.9 | | | | | | | |
| | | | | X | | | | | | | |
| 公用車の次世代自動車割合 | % | 増加 | 9.5 | 10.9 | 11.6 | 12.2 | 12.9 | 13.6 | 14.3 | 15.0 | |
| | | | | 9.2 | | | | | | | |
| | | | | X | | | | | | | |
| 市域における次世代自動車の新車販売率 | % | 増加 | 50.3 | 49.9 | 52.1 | 54.3 | 56.5 | 58.6 | 60.8 | 63.0 | |
| | | | | 61.5 | | | | | | | |
| | | | | ○ | | | | | | | |

【現状及び課題】

◆4項目で目標達成も、再生可能エネルギーのさらなる導入を促進します

持続可能なエネルギーへの転換促進に関わる指標(上から4項目)では、3項目で目標を達成しました。引き続き補助金事業や関連情報発信等で市民や事業者への普及啓発をおこない、再生可能エネルギー導入の機運を高めながら、2030年の目標達成を目指します。

脱炭素交通への移行では公用車の次世代自動車割合が目標を未達成ですが、公用車の買い替えに際し、所沢市公共施設等環境配慮推進ガイドラインに沿った自動車の導入を推奨することで、目標達成を目指します。

主な施策の実施状況

①持続可能なエネルギーへの転換促進

○所沢市スマートハウス化推進補助金

電気自動車や燃料電池自動車の普及促進に加え、住宅への創エネ・省エネ・蓄エネ設備の導入を支援する「所沢市スマートハウス化推進補助金」を実施しています。さらに、PPA やリース方式で太陽光発電を導入できる初期費用がかからない、太陽光発電の導入を実施している事業者に補助金を交付する「所沢市初期費用ゼロ円太陽光事業」や、国の採択を受けた事業により、FIT 認定を受けない太陽光発電に対して「所沢市スマートハウス化推進補助金」を上乗せする形で補助を行うなど、再生可能エネルギーの普及に向けた取り組みを積極的に展開しています。

[2024 年度実績]

- ・スマートハウス化推進補助金（家庭用創エネ・蓄エネ）：747 件
- ・スマートハウス化推進補助金への上乗せ補助金（環境省「重点対策加速化事業」）
家庭用：18 件 事業者用：1 件
- ・スマートハウス化推進補助金（自治会・管理組合用）：1 件
- ・初期費用ゼロ円太陽光事業：36 件

○地域新電力会社「ところざわ未来電力」

地域新電力会社である(株)ところざわ未来電力を通じて、高圧公共施設 113 施設（19,587 kW）、市内民間事業者等 30 施設（6,095 kW）、公共施設や家庭等の低圧需要家 611 件に対して、市内の再エネ電源等を活用した環境負荷の少ない電力を供給することで、再エネの普及・利用推進を図っています。

②脱炭素交通への移行

○ところバスロケーションシステム導入事業

公共交通機関の利用促進の一環として、2024 年 10 月から、ところバスの位置情報や到着予想時刻をスマートフォンなどで調べられるバスロケーションシステムの運用を開始しました。これと同時に、広く利用されている地図サイトにも情報が連携されるようになり、利便性が高まりました。

○トコトコ健幸マイレージ事業

18 歳以上の市民を対象に、スマートフォンアプリを用いて歩数を記録しながら日常的にウォーキングを行い、生活習慣病の予防を図るとともに、健康づくりの取組みを継続的に支援しています。

広報ところざわやところざわほっとメール、SNS 等を活用した情報発信を行うとともに、従来からの保健師等の地区活動や乳幼児健康診査、健康増進に関するイベント、庁内各課が発出するチラシや通知等を通じて周知に取組んだ結果、2024 年度末の事業への登録者数は 9,325 人になりました。